

こんにちは 議会です

 紀の川市議会だより
平成30年〔2018〕2月1日発行 No.44

成人の誓い

- 議会構成..... P2
- 市政を問う(一般質問)..... P6
- 第4回定例会..... P13

新議会がスタートしました。

11月19日の市議会議員選挙により、新議員が決まりました。
(任期は平成29年12月11日から33年12月10日まで)
選挙後初となる「平成29年第4回定例会」が12月11日から開かれ、新しい議会構成が決まりました。

ごあいさつ

市民の皆さまには、平素より市議会に対し、ご理解とご支援を賜り、心からお礼申し上げます。

私たちは、12月定例議会におきまして、議長、副議長の要職に就任させていただきました。

本市でも人口減少に歯止めをと、「まち・ひと・しごと総合戦略」を推進し、人口増をめざしていますが、若い人たちの働く場、子育て支援、移住定住、空き家活用対策など、課題が山積みしています。

二元代表制の一翼を担う我々市議会は、持続的で活力ある、安全安心で住み良い郷土「紀の川市」の未来のために、市民の意思を反映した議事機関となるため充実した議会活動を通じて、その存在意義を示す必要があります。

また、歴代の議長が推進されてこられた議会改革については、引き続き取り組んでまいります。

私たちは、市民の皆さまに、より一層信頼される市議会をめざしてまいりますので、今後とも、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長 室谷 伊則

議長 坂本 康隆

私たちが新しい市民の代表です



委員会の構成も決まりました。

◎…委員長 ○…副委員長

市議会には、市の問題を議員全員で話し合う場と、さらに専門的に調査し、話し合う3つの常任委員会があります。ここでは、それぞれの常任委員会、その他の委員会を紹介いたします。

議会運営委員会

- ◎石脇 順治
- ◎森田 幾久
- 上野 宗彦
- 阪中 晃
- 堂脇 光弘
- 室谷 伊則
- 船木 孝明
- 榎本 喜之
- 石井 仁

議会広報特別委員会

- ◎森田 幾久
- 中村 まき
- 上野 宗彦
- 並松 八重
- 榎本 喜之
- 石井 仁
- 仲谷 妙子
- 大谷さつき
- 竹村 広明

監査委員

- 榎本 喜之

総務文教常任委員会

政策、財政、財産管理、税、防災、コミュニケーション、学校教育、生涯学習、選挙管理委員会などに関することを審査します。



- (後列右より)
- 石脇 順治
- 太田加寿也
- 村垣 正造
- 石井 仁
- (前列右より)
- 仲谷 妙子
- 大谷さつき
- ◎阪中 晃
- 坂本 康隆

厚生常任委員会

住民登録、医療、保険、健康推進、福祉、環境衛生、ごみ処理、水道などに関することを審査します。



- (後列右より)
- 榎本 喜之
- 森田 幾久
- 上野 宗彦
- (前列右より)
- 中村 まき
- 船木 孝明
- ◎堂脇 光弘
- 並松 八重

産業建設常任委員会

都市計画、道路、河川、下水道、観光、農業、農業委員会、地籍調査などに関することを審査します。



- (後列右より)
- 竹村 広明
- 杉原 勲
- 門 眞一郎
- (前列右より)
- 川原 一泰
- ◎中尾太久也
- 高田 英亮
- 室谷 伊則

議員の紹介

(五十音順)

- ①所属会派
- ②当選回数
- ③住所
- ④抱負（一言）



石脇 順治

- ①隆盛クラブ
- ② 2回
- ③西脇564-4
- ④定住促進事業の推進、新規農業就労者の支援等に努めます。



石井 仁

- ①日本共産党
- ② 4回
- ③西大井 558-8
- ④市民の暮らしを守る市政に。



大谷 さつき

- ①公明党
- ② 2回
- ③貴志川町神戸 997-7
- ④女性目線で、^{いのち}生命と環境を守ります。



太田 加寿也

- ①わかばクラブ
- ② 2回
- ③貴志川町長原 941
- ④市民生活の向上と、子供たちの健やかな成長のためにがんばります。



榎本 喜之

- ①わかばクラブ
- ② 3回
- ③高野 415
- ④一步一步、元気で活力あるまち紀の川市をめざします。



上野 宗彦

- ①清流会
- ② 1回
- ③尾崎 88-1
- ④子供たちの未来のため、活気ある紀の川市のためにがんばります。



坂本 康隆

- ①わかばクラブ
- ② 4回
- ③名手市場 1063
- ④生きていて良かったと実感できる社会の実現！住みよい街・未来につなぐ。



阪中 晃

- ①わかばクラブ
- ② 3回
- ③桃山町最上 224-1
- ④安全安心で、^{まほう}わくわくする故郷（紀の川市）をめざします。



川原 一泰

- ①隆盛クラブ
- ② 4回
- ③藤井 964
- ④紀の川インターから関空への直接道路の建設に向けて一議員として頑張る。



門 眞一郎

- ①日本共産党
- ② 1回
- ③上鞆洲 205
- ④希望をもって住み続けられるまちをめざして。



堂脇 光弘

- ①刷新クラブ
- ②4回
- ③平野 2075-1
- ④農業振興と災害に強い紀の川市になるように努力します。



竹村 広明

- ①清流会
- ②4回
- ③貴志川町井ノ口720-2
- ④地域力を高めるため、皆様方の知恵を結集し、行政に働きかけていきたい。



高田 英亮

- ①わかばクラブ
- ②4回
- ③貴志川町神戸 359-2
- ④子供たちの未来のために、安心と豊かさを実感できる紀の川市を。



杉原 勲

- ①刷新クラブ
- ②4回
- ③東野 400
- ④皆様が行政に望むご意見を届け叶えられるように全力で取り組みます。



並松 八重

- ①公明党
- ②2回
- ③荒見 551-5
- ④女性の視点を活かし、生きがいあるまちづくりに全力で取り組みます。



中村 まき

- ①日本共産党
- ②2回
- ③東国分 353-2
- ④幅広い年代の地域の声を市政に届けていきます。



仲谷 妙子

- ①刷新クラブ
- ②2回
- ③桃山町最上 208-28
- ④農業、商工業の発展と災害に強い紀の川市をめざします。



中尾太久也

- ①わかばクラブ
- ②2回
- ③西井阪 131-7
- ④福祉の充実をはかり、暮らしやすいまちづくりに努力します。



森田 幾久

- ①清流会
- ②4回
- ③長田中 129-19
- ④人口減少ストップ！「働きに行ける」環境づくりに邁進します。



室谷 伊則

- ①公明党
- ②4回
- ③桃山町市場 526-9
- ④来たい・住みたい・住み続けたい紀の川市！めざして頑張ります。



村垣 正造

- ①清流会
- ②4回
- ③桃山町元 225-3
- ④市民の代表者であるという基本に立ち、開かれた議会をめざします。



船木 孝明

- ①わかばクラブ
- ②2回
- ③桃山町元 156-1
- ④少子高齢化社会、特に2025年の壁に向かって取り組んでいきたい。

いっぱん質問

市政を問う

阪中 晃 議員

- ・台風 21 号の被害対応について

森田 幾久 議員

- ・災害の状況と支援について

上野 宗彦 議員

- ・紀の川市出身のUターン就職活動生の
困り込みについて

中村 まき 議員

- ・乗り合いタクシーの導入と巡回バスの
改善について
- ・介護保険第7期事業計画について

門 眞一郎 議員

- ・仮称 海南・紀の川風力発電事業に
ついて

石井 仁 議員

- ・国民健康保険制度について

船木 孝明 議員

- ・台風 21 号の豪雨の被害の状況と今
後の防災の取組は

中尾 太久也 議員

- ・新たな財政計画が策定され、3つの
柱が出されているが、この計画に向
けての取組みは

太田 加寿也 議員

- ・投票率向上への行政の取組みにつ
いて
- ・車から歩行者や通学生徒を守るグ
リーンゾーンの設置を進めては

並松 八重 議員

- ・文化財保護と集約化について
- ・日本遺産申請への取組について

大谷 さつき 議員

- ・市民の健康推進の取組みについて

背景写真：平池緑地公園

一般質問の内容については、要旨のみ掲載しています。

なお、原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります。

くわしい内容を知りたい方は、会議録の閲覧ができますので議会事務局議事調査課までお問い合わせください。(TEL 0736-77-0860)

台風21号の被害対応は

問

台風21号で、桃山町最上地区をはじめ、調月地区、貴志川町北地区、前田地区、丸栖地区および荒見地区が水害に見舞われた。また、西脇地区では土砂崩れが発生し、死傷者が出るといった未曾有の災害が起こった。危機管理部および災害対策本部は大いに混乱を極めたことと推察する。

まず、対応での反省点はどのような事か。そして、岩出井堰の増改築工事の進み具合は。紀の川の土砂の浚渫工事の進み具合、また排水機の新設計画は。

答 危機管理部長

浸水被害が発生した地区では排水機場（アケ所）



阪中 晃 議員

の稼働、市内各地の消防団員50名による57台のポンプ車で排水作業するも

及ばず浸水被害が約20件発生した。発生当初、危機管理部への電話や無線連絡で一時騒然となるなかで、職員の動員体制、運営などについて反省すべきことがあり、今後対応について危機管理部の体制強化をし、防災意識を高めるにはどうするかを精査していく。

答 建設部長

岩出狭窄部対策事業は平成32年度完成を目指して急ピッチで整備が進められており、5年間で土砂を70万立方メートル浚渫し搬出することになっている。

答 農林商工部長

また、要望のある貴志川の土砂の浚渫工事を国に対し強く要望している。

平成26年度より、和歌山市から岩出市・紀の川市に及ぶ地域で国営の総合農地防災事業に着手し、

農業用排水施設の排水機能を回復するために、緊急性の高い箇所より順次施行する予定である。

排水機場では、高嶋排水機場の改修と、東貴志排水機場が増設されることになっている。また、県が実施する付帯工事において、丸栖排水機場および中貴志排水機場が新たに設置される計画となっている。



消防団のポンプ車

問

スピードと手厚さ重要

台風21号は、事前から降り続いた雨の影響と、さらに台風の大雨で甚大な被害をもたらした。地域によって被害も様々であった。今回の台風被害を教訓に、地域に合わせた防災訓練が必要と考えるが。

答 危機管理部長

市民全体の防災総合訓練も必要であるが、地域の地形また、避難所などの現状を踏まえての防災訓練も重要と認識した。今後の防災訓練については、地域の方々や関係者で協議していく。

問

災害時の対策と支援は、スピードと手厚さが要求

されるなか、支援には財源の確保が必要となる。

また、災害寄附金などが重要となるが、災害寄附金や見舞金などの窓口や取り扱いは。例えば、寄附金を小中学校へと指定された場合の取り扱い。

答 危機管理部長

危機管理部が災害対策の総合窓口となっている。内容に応じて関係部署へ連絡調整を行っている。

答 教育部長

今回、社会奉仕団体から被害に遭った小中学生にと50万円の義援金の申し出があった。学用品など学校生活の被害に遭った対象は2校であったため、早く義援金が届くことを最優先に考え、PTAに義援金の窓口になっていた。今後、被害に際し対応をしていく。

問

市単独での義援金の募集についてどう考えるか。

答 会計管理者

市単独での義援金の募集には災害救助法の適用が要件となるが、本市の適用住家滅失世帯数である80世帯に達しなかったため、行っていない。

問

ふるさと寄附金の活用はどうか。災害時には直ちに用途の項目を設けるべきでは。

答 総務部長

現状としては、使途としての選択肢に災害復旧に関する項目は設定していない。今後、有事に際して速やかに項目を追加することや、ネットなどの活用を検討していく。



ボートで救出



上野 宗彦 議員

若者の帰郷促進

問

都市部の進学先から地元周辺企業に就職活動をする「Uターン就職活動生」を囲い込むためのPR活動の現状と、現在の実績をふまえた目標設定の必要性は。

答

農林商工部長

現時点ではそれに特化したPRは行っていないが、10月に個別企業説明会「岩出・紀の川就職フェア」を地元企業を含む38社で開催し、市においては開催周知をHP・広報などを通じて行い、雇用拡大をはかっている。平成28年度の本市の高校の卒業生は46人で、大学進学者は144人、うち県外への進学者は12人である。県の調査によると、県主体では県外進学者の

うち約59%が県外で就職し、41%が県内へUターン就職している現状である。

今後本市でもデータ把握を強化し、地元雇用促進のための目標設定に活用したい。

就職活動時に支援を

問

就職売り手市場のなか、Uターン就職活動生に対して経済的支援などの検討はしているのか。

答

農林商工部長

個々への支援補助金制度はないが、学生の目を本市に向けるために、企業と行政が連携し様々なPRをしていく必要があると考える。行政改革においても商工労働課の設置を予定し、市内雇用の促進や商工業の活性化を狙うなかで、今後様々な支援を協議していく。

問

若者が帰ってきて働い

てもらつ「まちづくり」に関しての考えは。

答

市長

大企業誘致だけでなく中小企業の誘致も進めたい。地元で働くことでのメリットを提供することで、農業、商工業の後継者不足の解消にもつながる。若者が帰ってきたくなるような魅力ある「まちづくり」を目指したい。



公共交通の改善を

問

市内での移動手段の確保が困難であり、巡回バスが利用しにくいという声を聞いている。移動手段の確保のための改善策として、運行本数の増加と路線の拡大、無料バスの導入を

答

企画部長

しつは。巡回バスの人口に対するカバレッジが高い反面、運行本数が限られる。バス事業者と協議を行いながら、総合的に判断していく。巡回バスは低料金で設定しているので無料バスの導入は考えていない。

問

市が委託したタクシー会社による低料金の乗り



中村 まき 議員

合いタクシーが各地で導入されてきている。「地域公共交通網形成計画」の策定を進めながら、乗り合いタクシーの試験運転を行っている。

答

企画部長

「地域公共交通網形成計画」の策定を進めながら、新たな乗り合いタクシーの試験運行は難しい。

介護保険料の負担

問

介護保険制度はこれまで数々の改定がされてきた。今年度から開始された総合事業は、介護保険の財源を使う。2から3年で上限額を超えることが予想されるが、超えた分は介護保険財源からは出ない。これにより上限額以内にサービスの利用を押しさえ込むことにはならないか。また超えた分は市で負担できないか。

答

保健福祉部次長

サービスの制限は介護

問

地域包括支援センター事業が一般会計から介護特別会計に移ることに伴い、第7期の保険料に影響すると言われていた。介護報酬の引き上げもあると聞く。保険料はどれくらいの値上げになるか。

答

保健福祉部次長

給付費の増加、負担率の改定から保険料の上昇は避けられない。



風力発電への対応は

問

合同会社NWEー03インベストメントおよびNWEー09インベストメントが、海南市から紀の川市にわたり高さ150mの風力発電施設を72基建てる計画を出してきた。

「苦情・健康被害が発生した場合、真摯に対応すること」とあるが、各地の被害例を見ても、健康被害が発生してからでは遅いのでは。

答 市民部長

万が一、事業実施後に被害が生じた場合には、「これを放置することなく、真摯に対応するよう」にこの条件を付して事業者を論じたもので、事業の実施を認めるものではない。

問

超低周波音による健康被害について、どのように把握しているか。

答 市民部長

環境省の指針によると「健康影響との明らかな関連を示す知見は確認されなかった」とあるが、「これらの音によりわずらわしさが増加させ、睡眠への影響のリスクを増加させる可能性がある」とも記述されている。



門 眞一郎 議員

騒音・低周波音健康被害

風車が建設されると、24時間鳴り響くモーター音、ブレードの風切り音などに悩まされることに…低周波音は家の中にも侵入し、防ぐことができない為、日常生活に支障がでる。



問

平成29年10月25日に出された知事意見をどのように評価しているのか。

答 市民部長

知事意見は県の環境影響評価審査議会や関係市町の意見を参考に作成されたもので、本市としては、民間事業者が自社の利益のために、本市の自然や景観を破壊し、住民への被害をかえりみないような事業は到底、看過・容認できない。

引き下げ可能では

問

平成30年度からの国保の県単位化に向けて、和歌山県が市町村ごとの一人当たり保険税額を試算し、9月に公表した。

平成29年度に新

制度へ移行したものととしての試算ではあるが、本市の場合、一人当たり1万7千84円を引き下げてもやっつけいけるといふ内容だった。

この「試算」を見る限り、本市の来年度の国保税率は引き下げることができるのでは。

答 市民部長

平成30年度の算定はこれから行われる。

9月の試算結果をもって、そのまま平成30年度以降の被保険者負担を引

き下げられるとは言えない。

問

平成30年1月には本算定が行われる。仮に、県が示す標準保険税率が現行税率よりも下がった場合でも、税率を引き下げないのか。

答 市民部長

実際の本市の保険税率設定には、保健事業や被保険者の状況を考慮する必要があるので、そのまま引き下げることができない。

また財政の安定には、ある程度の基金の積み立てが、今後必要となってくるので、基金の積み立てを税率の設定に組み込みたい。

基金の活用で負担軽減を

問

標準保険税率がどうなることも、加入者の負担を考えたときに、恒常的な一般会計からの繰り入

れにより、国保税の引き下げをすべきだ。

普通会計の基金108億円を国保税の負担軽減に活用すべきでは。

答 企画部長

国保会計は、独立採算制であり、一般会計の基金を原資にした、国保税の負担軽減のための恒常的な繰り出しは、現在のところ考えていない。

答 市長

一般会計からの繰り入れをするつもりはない。

一人当たり国保税額の試算結果 (平成29年度に新制度になったと仮定)

市町村名	平成29年度 試算結果 (激変緩和後) 円	平成28年度 実績 円	増減額 円	増減率 %
紀の川市	94,090	111,923	▲17,833	▲15.93%
県平均	95,564	104,681	▲9,117	▲8.71%

※平成29年9月25日和歌山県国民健康保険課「平成29年度における国民健康保険料(税)率等の試算結果について」から「国民健康保険標準保険料(税)率の算定基礎となる一人当たり保険料(税)額の試算結果」より抜粋



船木 孝明 議員

台風21号での取組は

問

今回の台風21号の洪水警報を受け、どのような緊急防災対策を取ったのか。

答

危機管理部長

気象警報等を受けて、速やかに災害対策本部を設置すると同時に、職員には配備体制1号を発令した。丸栖・調月浸水による避難勧告を発令した。

問

豪雨のため、防災行政無線放送が被災者に聞こえなかったが、今後の対応は。

答

危機管理部長

現在、防災行政無線デジタル化に向けての事業を実施しており、難聴地域へも対応可能となり、

また、放送内容を電話で確認できるサービスも開始している。

問

避難勧告を聞いて、小中学校へ避難したが断られたと聞いたが。

答

危機管理部長

浸水想定区域内にある学校は、地震や土砂災害避難所になっているが、水害の避難所になっていない。今後、住民への周知に努めたい。

問

一人暮らしの高齢者や障害者の要援護者の福祉避難所の開設は。

答

保健福祉部次長

本市の「災害時等に要援護者等の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書」で提携している施設が福祉避難所に当たり、今回避難所での生活が困難な高齢者7名と障害者1名を受け入れていた。



浸水した丸栖地区

問

本市の小中学校での防災教育は。

答

教育部長

各学校で策定した学校防災計画をもとに、小学校では防災ヘルメットの着用避難訓練など年3回、中学校ではAEDの使用体験など年2回の避難訓練を行っている。また平成30年2月から国が作成した防災授業も各小学校で順次実施していく予定である。

財政基盤の確立を!!



中尾 太久也 議員

問

新たな財政計画が策定されたが、この計画の基本的な考えは。

答

企画部長

本計画は、現状のまま推移すればどうなるのかという財政収支見直しを行い、見込まれる収支不足額を解消するための改善策を計画に盛り込み、予算編成に直結した計画とする。

問

現状のまま推移すれば、毎年6億円程度の収入不足が予想される。このための財源確保や特別会計への繰出金をどう考えるのか。

答

企画部長

3項目の具体的な取り組みと数値目標を定めて

いる。①職員適正化計画に基づく職員数の削減、外部委託や非常勤職員の活用。②財源確保として自主財源の確保、人件費や施設管理コストの抑制補助金制度の見直し、特別会計への繰出金の適正化。③基金の確保と活用で、財政規模に応じた基金残高を確保し有効活用を行う。

魅力・活力あるまちに

問

健全な財政基盤を確立し、将来世代に託せるまちづくりをどのように進めるのか。

答

市長

財政的に厳しい状況が続くが、市民の協力を得ながら着実な財政運営をしていく。

ふるさと寄附金をより一層全国的にアピールする。また地籍調査は、平成32年度に現地調査が終了見込みであるので、平成33年度評価替えにおいて、固定資産税の免除地積の解除を実施するよう準備している。

答

教育部長

指定管理者制度などの導入について慎重に検討する。施設の利用率向上と収入確保に努める。





太田 加寿也 議員

グリーンゾーン設置を

問

通勤の車が信号の渋滞を避けるため、旧道や細い道を抜け道に利用し走り抜けている。

このような道路は、小中学生の通学路や地元の人達の生活道路となっていることから、

歩行者や通学生を守るグリーンゾーンやスクールゾーン・歩道を設置しては。

答

建設部長

通学路の安全整備については、通学路安全推進会議で合同点検を実施し、危険箇所と判断された箇所では、緊急性や費用対効果を検証し、順次整備を進めている。用地が確保できない場所には、ポストコーンや区画線、水

路の蓋掛けなどで通学の安全確保を行っている。

グリーンゾーンについては、危険箇所と判断された西貴志小学校北側の通学路に、車道と路側帯を視覚的に明瞭に区分し、交通事故を防止する目的として、路側帯を緑色に着色したグリーンベルトを試験的に今年度施工予定である。

また、効果を検証しながら他の学校付近の危険な通学路にも取り組んでいきたい。

答

危機管理部長

自動車運転マナーと安全運転の向上・啓発を目的に、岩出警察署や紀の川市交通安全推進連絡協議会の協力で、交通安全運動期間中に街頭啓発や運転マナーの向上を推進している。

また、保育所・小学校や高齢の方々を対象に交通安全教室を開催し、交通事故の対策・指導に努めている。



歩道のない通学路

答

教育部長

スクールゾーンは、小学校や幼稚園を中心に半径500mの範囲を登下校の時間帯に、車両の通行禁止、一方通行、速度規制を実施するものである。地域住民の生活に影響が大きく、現在市内で指定しているところはない。本市では「通学路交通安全プログラム」に基づき、改善要望のある危険箇所を合同点検し、改善充実をはかっている。

文化財保存と活用

問

史跡旧名宿本陣周辺の調査、復元、整備が進められているが、本市にある貴重な文化財を後世に残すため、今後どのように文化財保護に向けた取り組みをしていくのか。

答

教育部長

ふるさとの歴史や文化を正しく後世に伝えるため必要なサポートを実施し、文化財保護のパートナーと保存状況を定期的に確認していく。

問

市内の文化財資料を集約し、人々が歴史と文化を学べる中心施設として展示方法を考え整備できないのか。

答

教育部長

貴志川展示室は、展示方法を再考したうえで気軽に見学できるよう準備を進め広く周知していく。紀の川市文化財展示施設活用計画では、歴史民族資料館は国分寺の資料と通史の展示、貴志川展示室は古墳や民族文化財の展示とあり、それぞれ特徴をもった展示をする2館体制でいく。

問

貴志川生涯学習センター2階にある展示室は貴重な文化財を展示している施設として周知し、見学しやすい対応をするべきで、歴史民族資料館は

問

文化庁が二〇二〇年、オリンピック・パラリンピック開催に向け、全国100ヶ所の認定をめざしているものに日本遺産がある。地域に点在する文化財を地域が主体となつて国内外に発信することにより地域の活性化をはかることを目的としている。現在57ヶ所認定されている。



並松 八重 議員



史跡紀伊国分寺跡

答

教育部長

本市において市民と力を合わせ、文化財・観光・地域振興が部署を越えて申請への取り組みを進めるべきでは。



大谷 さつき 議員

てくてく歩こう!

問 健康寿命を延ばす取り組みとして、「紀の川てくてく体操」が普及されているが、進捗状況と効果は。

答 保健福祉部次長

平成27年9月から各地域の集会所を活用し、高齢者が歩いて気軽に集い、体操などの拠点として健康づくりができるよう支援している。

理学療法士によるリハビリメニューを提案・指導し、現在で46ヶ所、約700名が週一回各地域で実践している。個別地域でのイベント開催に周知をはかり、二〇二五年には100ヶ所を目標としている。事業効果は身体機能面では、60歳代の実践者にはすべての方に改善が見られる。団塊の世代が75

歳以上になる二〇二五年を見据えた介護予防施策において、大きな効果がある。

意識変容は「体が軽くなり、出かける機会が増えた」と生活の質の向上が見られた結果がある。

今後とも生活支援体制整備事業との連携も模索し推進していく。

ハツラツ元気で!

問

「健康ステーション」を庁舎内に設置し、メデイウォークを増加活用して、健康チェック・血管年齢測定・健康相談・栄養相談などができるようには。

答 市長 保健福祉部次長

毎年20名前後の市民にメデイウォークを貸し出している。メデイウォークは携帯するだけで普段の生活活動量と運動量を測定できる身体活動計である。歩数と中強度活動時間で「うつ病・認知症・

脳卒中・心疾患・がん・骨粗しょう症・動脈硬化」などの予防ができるこの研究結果である。有効な手段であることから、必要な機器の増量に取り組みたいと考える。

「健康ステーション」の設置は、次年度から健康推進課が本庁一階に配置される予定から、健康増進と介護予防が一体となったステーションを前向きに検討する。



体操風景

NEXT

次回 3 月定例会

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27	28	3/1	2	3
		本会議 (開会)	本会議 (一般質問)		(質疑・付託) 予算決算 常任委員会	
4	5	6	7	8	9	10
		予算決算・総務文教 常任委員会			予算決算 常任委員会	
11	12	13	14	15	16	17
	予算決算 厚生 常任委員会	予算決算・産業建設 常任委員会				
18	19	20	21	22	23	24
				予算決算 常任委員会		
25	26	27	28	29	30	31
		本会議 (閉会)				

※午前9時30分開会予定です。なお、日程は変更することがあります。

議会を傍聴してみませんか

市議会の定例会は、3・6・9・12月の年4回開催され、傍聴することができます。

市議会では、市民のみなさんの生活に直結した重要な問題が審議されていますので、私たち議員の活動状況や市政の内容を知るためにも、ぜひ議会の傍聴にきてください!



【傍聴手続き】

本会議の傍聴を希望される方は、当日受付で住所・氏名を記入していただき、入場してください。

本会議の傍聴定員は、30人(うち車いす用2席)です。

【受付場所】

本庁舎6階 議会事務局

電話でのお問い合わせもお受けしています。

●お問い合わせ…議会事務局

電話番号：0736-77-0860

第4回定例会

こんなことが決まりました。

- ・ 会期 40日間
12月11日～1月19日
- ・ 一般質問 11名が登壇

今回の議案は

市長提出議案

- ・ 専決処分……………2件
- ・ 人事案件……………12件
- ・ 条例制定・改正……………8件
- ・ 補正予算……………9件
- ・ 市道路線認定・廃止……………8件
- ・ その他……………1件

委員会提出議案

- ・ 意見書……………1件

計41件

すべての議案を全会一致で可決しました。

※議会だよりは、主な議案を抜粋して掲載していますので、その他の議案や結果につきましては、紀の川市議会ホームページをご覧ください。議事事務局へお問い合わせください。



議場での手話通訳

Pick up

手話は言語

(議案第110号) 紀の川市広げようこころの輪手話言語条例の制定について

手話が言語であることを広く市民に周知し、手話への理解を広げ、すべての市民が安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、「紀の川市広げようこころの輪手話言語条例」が制定されました。

こんな質問が出ました

Q 条例制定の経緯は。

A 手話は聾の方の必要不可欠なコミュニケーション手段であるにもかかわらず、過去には、日本でも禁止される時代があった。その後、「手話は言語である」と定義する障害者の権利に関する条約の採択や障害者基本法の改正がされた。

本市でも、手話通訳士の配置や手話講座の開催など積極的に取り組んできた。議会での一般質問で手話言語条例の制定の提案もあり、市内の聾の方々から意見を聞いて、条例の制定に至った。

Q 今後の取り組みは。

A 職員研修や小中学校での出前講座などを進めていく。

意見書を

提出することになりました

「道路整備事業に係る補助率等の特別措置の継続及び道路整備予算の確保を求める意見書」を提出

(提出先)

内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣
国土交通大臣 国土強靱化担当大臣
地方創生担当大臣 衆議院議長
参議院議長

【全会一致】



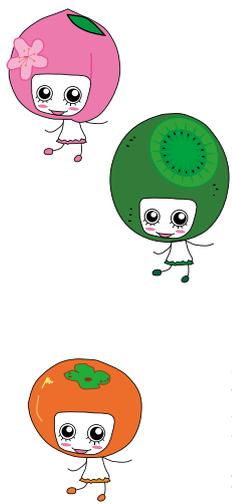
ぺったんぺったん (レイモンドこども園)



伝統を引き継ぐしめ縄作り (川原小)



祝 成人



二十歳の笑顔



生産量日本一の葉ぼたん



獅子舞 願いを込めて

編集後記

新年あけましておめでとう
ございます。

市議会も昨年秋に選挙が行われ、新たな顔ぶれでスタートしました。

今年は冬季オリンピックイヤーということもあり、また2年後には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるため、国民から多くのメダルが期待されています。

市議会としても、市民の代表として多くのメダルを獲れるように頑張ってまいります。

そして、議会広報特別委員会としては、手に取ってもらい、わかりやすく読んでもらえる議会だよりを目指し、今度こそグランプリを獲れるように精進してまいります。

今後、新コーナーも計画していますので、皆様のご意見ご感想をお待ちしています。

本年もよろしくお願いたします。

(中村まゆ)